

工学研究科

以下の情報は、令和8年度工学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項である。

各専攻で必要な出願書類、学力検査日程、入学試験詳細等については、以下の各専攻のページを必ず確認すること。

総合生存学館を志望する者は、建築学専攻、原子核工学専攻、及び電気系（電気工学専攻・電子工学専攻）には出願できない。

社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻）	49
都市環境工学専攻	53
機械工学群（機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻）	57
材料工学専攻	61
創成化学専攻群（材料化学専攻、高分子化学専攻）	63
先端化学専攻群（物質エネルギー化学専攻、分子工学専攻、合成・生物化学専攻）	67
化学工学専攻	71

出願期間（各専攻共通）

P.9記載の（1）一次出願書類と、二次出願書類（共通）及び二次出願書類（研究科別）の受付期間が重複しているため、出願書類を同封して提出することができる。研究科別の提出物の詳細については各専攻のページで確認すること。

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2025年5月28日（水）～6月11日（水）午後5時（必着）

各専攻が求める提出書類により提出期限が異なることがあるため、各専攻のページを確認すること。ただし、二次出願書類（共通）は上記期間内に提出すること。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注）郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2026年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

総合生存学館を志望する者は、京都大学工学部地球工学科を卒業、あるいは卒業見込みの者は「一般学力選考」を、京都大学工学部地球工学科以外の学科・学部・他大学を卒業、あるいは卒業見込みの者は「学科外別途選考Ⅰ型」を受験すること。

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

Ⅰ．専攻別志望区分

各専攻の研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

Ⅱ．学力検査日程

(1)一般学力選考

桂キャンパス C クラスターC1 棟 191・192・117 号室 他

月日	時 間 試験科目	時 間 試験科目
8 月 5 日（火）	10:00～11:30 数学・物理（力学）	13:00～15:00 専 門

(2)学科外別途選考Ⅰ型

桂キャンパス C クラスターC1 棟 171 号室 他

月日	時 間 試験科目	時 間 試験科目
8 月 5 日（火）	10:00～11:30 数学・物理（力学）	13:00～14:20 専 門

○学力検査に関する注意事項

- ・ 試験開始時刻 15 分前までに試験室前に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・ 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴムに限る。

Ⅲ．入学試験詳細

一般学力選考、学科外別途選考Ⅰ型の入学試験の詳細は、以下の通りである。

(1)一般学力選考

- ①英語（200 点/1000 点）：TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。
- ②数学・物理（力学）（200 点/1000 点）：以下の(1)と(2)を受験すること。

科目名	出題範囲
(1)数学	微積分学、線形代数、ベクトル解析、複素関数、フーリエ変換、ラプラス変換、微分方程式、確率・統計
(2)物理（力学）	運動の法則、慣性系、回転座標系、振動、ポテンシャル、剛体の力学、

	ラグランジュの運動方程式
--	--------------

※注 科目(1)と(2)は日本語および英語で出題される。

③専門（600点/1000点）：以下の(1)～(5)から 3 科目 を選択すること。

ただし、13・14・15・31・37 を第一志望区分とする場合には、3 科目の 1 科目として、必ず(5)資源工学を選択しなければならない。

科目名	出題範囲
(1)構造力学	力のつりあい、断面力、影響線、応力とひずみ、材料の力学的性質、断面の性質、構造物の安定性および静定・不静定、静定構造、構造物の変形、柱の弾性座屈、不静定構造、弾性方程式法、仕事・エネルギーと仮想仕事、エネルギー原理
(2)水理学	流体運動の基礎、静水力学、完全流体の力学、水の波、粘性と乱れ、次元解析と相似律、管路の定常流、開水路の定常流
(3)土質力学	土の分類と物理的性質、土中の水理、圧密、土のせん断強さ、土の締固め、土圧、支持力、地盤内応力、斜面の安定、地盤改良、地盤の液化、地盤の振動特性
(4)計画理論	線形計画法、非線形計画法、動的計画法、ゲーム理論、ネットワーク手法、費用便益分析、重回帰モデル
(5)資源工学	岩石・岩盤の力学・水理、地質調査法と鉱床学、弾性波・電気・電磁探査の原理・データ解析と解釈

※注 科目(1)～(4)は日本語および英語で出題される。科目(5)は日本語で出題される。英語の問題冊子には科目(5)は含まれない。

(2)学科外別途選考Ⅰ型

①英語（200点/1000点）：TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。

②数学・物理（力学）（300点/1000点）：出題範囲は一般学力選考と同じである。

③専門（500点/1000点）：一般学力選考と同じ(1)～(5)から 2 科目 を選択すること。

ただし、13・14・15・31・37 を第一志望区分とする場合には、2 科目の 1 科目として、必ず(5)資源工学を選択しなければならない。

Ⅳ. 出願要領

出願時に、「一般学力選考」あるいは「学科外別途選考Ⅰ型」を選択して、「選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書」（様式－M1）によって届け出ること。希望する問題冊子の言語についても選択すること。出願後、受験希望の科目を変更することはできない。また下記の指示にしたがい「志望する指導教員調書」（様式－M3）に志望区分を記入すること。合格後の志望区分の変更は認めない。

(1)一般学力選考・学科外別途選考Ⅰ型

社会基盤・都市社会系に含まれる志望区分（1～23・26～44）の中から、第 1 志望の志望区分を記入すること。ただし、それぞれの選考方法の上限定員のために、有資格者であっても合格できない場合がある。

(2) 事前コンタクトについて

事前コンタクトにおいては、希望指導教員が志願者の希望する学習・研究内容と、希望指導教員の研究活動との整合性の有無を判断する。

○別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

一般学力選考、学科外別途選考Ⅰ型の別途提出書類は、以下の通りである。

総合生存学館に提出する書類に併せて、下記の書類を提出すること。

①選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書（様式－M1）

②入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M2）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

③志望する指導教員調書（様式－M3）

※必ず、希望指導教員から署名をもらうこと

注）総合生存学館を受験する学生は、第2志望以下は選択不可。

④TOEIC または IELTS の成績証明書

※TOEFL の場合、紙媒体の提出は不要。「英語の成績証明書・学力評価について」参照。

別途提出書類を下記提出先へ郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

・書類提出期限：2025年6月11日（水）午後5時（必着）

※何らかの理由で、TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書を上記期限までに提出できない者は、2025年7月18日（金）午後4時必着で以下の提出先に郵送しなければならない。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

○英語の成績証明書・学力評価について

- ・ TOEIC、IELTS、TOEFL の成績により英語の学力を評価する（ただし、2023年8月1日以降に実施された試験に限る）。下記の指定されたいずれかの提出物を、期日までに郵送（書留便）すること。2025年7月18日（金）午後4時以後は受け付けないので注意されたい。

<TOEIC>

- ・公式認定証（Official Score Certificate）の原本のほかにデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものも認める。ただし、いずれの場合も紙媒体として提出すること。TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

<IELTS>

- ・追加成績証明書（紙媒体）が期日までに総合生存学館教務掛に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。IELTS（Academic Module）のみ受け付ける。Paper-based IELTS と Computer-delivered IELTS のいずれも認めるが、IELTS Online のスコアは認められないので留意すること。

<TOEFL>

- ・ Institutional Score Report が期日までに総合生存学館教務掛に届くように、TOEFL 実施機関（米国 Educational Testing Service）に送付依頼の手続きをとること。送付依頼手続きに必要な、総合生存学館の Institution Code は「B491」である。また、Institutional Score Report の総合生存学館教務掛への到着に関する問い合わせには回答しない。
- ・ TOEFL-iBT（internet-Based Test）のみ受け付ける。TOEFL iBT Paper Edition および TOEFL iBT Home Edition のスコアは認められないので留意すること。また、TOEFL-iBT テストの MyBest スコアも認めない。TOEFL-ITP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。
- ・ 後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。
- ・ 成績証明書の返却希望の有無を「選考方法及び英語成績証明書の提出に関する申請書」（様式－M1）の所定の欄に記入すること。

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には3種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは以下の通りである。

- 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）
- 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
- 修士課程教育プログラム

いずれの教育プログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。志望の調査は、出願時に「入学後の教育プログラム履修志望調書」（様式－M2）により実施する。

VI. 教育プログラムの内容について

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

都市環境工学専攻

総合生存学館を志望する者は、「一般学力選考」のみ受験可。

I. 志望区分

研究内容等の詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

一般学力選考

(筆記試験会場：桂キャンパス C クラスタ C1 棟 173 号室、他)

月日	時 間 試験科目
8 月 5 日 (火)	1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0 数学 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0 専門

○学力検査に関する注意事項

- ・ 試験開始時刻 10 分前までに試験室前に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り及び消しゴムに限る。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・ 数学及び専門の受験にあたっては、関数電卓（プログラム機能を有さないもの）を各自が用意すること。

III. 入学試験詳細

一般学力選考の入学試験の詳細は、以下のとおりである。

①英語 (200 点/1000 点) : TOEFL、TOEIC または IELTS のスコアにより評価する。

②専門科目 (800 点/1000 点)

・ 学部成績 (200 点/1000 点)

・ 数学 (200 点/1000 点)

科目名	出題範囲
(1) 数学	線形代数、ベクトル解析、微分方程式、確率・統計

・ 専門 (400 点/1000 点) :

必須問題：環境物理学, 環境化学, 及び環境生物学に関する語句説明、6 題すべてに解答すること。

選択問題：以下の (1) ~ (3) より出題される計 6 題のうち、3 題を選択し解答すること。

科目名	出題範囲
(1) 環境物理学	熱や物質などの移動現象と環境装置設計、放射線の基礎と管理、騒音・振動の管理技術、大気汚染と地球温暖化
(2) 環境化学	物理化学の基礎、無機・有機化学の基礎、化学的環境指標、界面化学
(3) 環境生物学	微生物の代謝様式と増殖、生物学的水質指標、環境生態学の基礎

【注】数学及び専門の受験にあたっては関数電卓（プログラム機能を有さないもの）を各自が用意すること。

IV. 出願要領

出願時に、一般学力選考を選択して、「選考方法及び受験科目申請書」（様式-M1）によって届け出ること（詳細は、「Ⅶ. その他」の別途提出書類を参照）。また、都市環境工学専攻の各研究内容を参照し、志望区分調書（様式-M2）の欄に、第1志望を記入すること。合格後の志望区分の変更は認めない。

V. 入学後の教育プログラムの選択

(1) 履修できる教育プログラム

修士課程入学後には3種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「都市環境工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）
人間安全保障工学分野
- 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
都市環境工学専攻
- 修士課程教育プログラム
都市環境工学専攻

(2) 教育プログラムの選択

いずれの教育プログラムを履修するかについては、合格者決定後に希望調査を実施し、下記の要領によって決定する。

教育プログラム希望調査： 2026年1月中に実施

連携教育プログラム希望者口頭試問： 2026年2月中に実施

連携教育プログラム（融合工学コース及び高度工学コース）を希望するものについては、卒業論文の内容や入学後の研究計画等について口頭試問を実施する。修士課程教育プログラムの履修を希望するものには口頭試問は実施しない。

なお、連携教育プログラム希望者に対する口頭試問において連携教育プログラムの履修が不可となった場合は、修士課程教育プログラムを履修することとなる。

Ⅵ. 教育プログラムの内容について

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

Ⅶ. その他

○英語の学力評価について

- ・ TOEFLの総合生存学館が指定する Institution Code：B491により、**7月25日(金)の午後5時**までに総合生存学館に提出された受験者成績書（Test Taker Score Report）、TOEICの公式認定証（Official Score Certificate）またはIELTSの成績証明書（Test Report Form）（以下、成績証明書と略す）の成績（ただし、2023年8月1日以降に実施された試験に限る）により英語の学力を評価する。
- ・ 成績証明書を提出する場合は、**7月25日(金)の午後5時**まで必着で、総合生存学館教務掛に郵送しなければならない（下記の別途提出書類を参照）。この期限以後の提出は受け付けないので注意されたい。
- ・ TOEFLの場合はTOEFL-iBT(internet-Based Test)((Special) Home Editionを含む)及びTOEFL-

PBT(Paper-Based Test)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

- TOEFL の成績証明書は、上記の受験者成績書のコピー(ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものも可)を提出すること。TOEFL のスコアにおいて MyBest™スコアは認めない。TOEIC の成績証明書は、公式認定書 (Official Score Certificate) 原本(紙媒体)そのもの、もしくはデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) (PDF 版)を印刷したものを提出すること。IELTS の成績証明書は原本に限り、コピーは受け付けない。ただし、成績証明書の送付に遅延がある場合、ウェブサイトに表示される成績を印刷したものの提出を IELTS についても認める。また、後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消す。
- 成績証明書は試験当日に返却する。
- TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。

TOEFL: 国際教育交換協議会 (CIEE)・TOEFL 事業部

TEL: 0120-981-925、<http://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会

TEL: 06-6258-0224、<https://www.iibc-global.org/toeic.html>

IELTS: (公財)日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852

(公財)日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286

<http://www.eiken.or.jp/ielts/contact/>

○別途提出書類

下記の書類を期限内に総合生存学館教務掛に郵送しなければならない。

(様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。)

①選考方法及び受験科目申請書(様式-M1)

注)「選考方法」は必ず「一般学力選考」を選択すること。

②志望区分調書(様式-M2)

注)総合生存学館を受験する学生は第1志望のみ記載すること。第2希望以下の記載は認めない。

③TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書

- 書類提出期限: **6月4日(水)午後5時(必着)**

TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書のみ **7月25日(金)午後5時(必着)**

提出先: 〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

機械工学群（機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻）

総合生存学館を志望する者は、「一般選考」のみ受験可。

I. 専攻別志望区分

(1) 教育プログラム

修士課程教育プログラム（2年）、および修士課程と博士後期課程を連携した前後期連携教育プログラム（5年）を設けている。選抜方法はそれぞれの教育プログラムにより異なる。前後期連携教育プログラムに関する詳細は工学研究科募集要項「修士課程入学後の教育プログラムについて」、および工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）を参照すること。

教育プログラム		選抜方法
修士課程		一般選考
前後期連携	高度工学コース	一般選考
	融合工学コース	

(2) 専攻別志望区分一覧

各専攻の研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

一般選考

8月3日（日）	9：30～11：30 数学	13：00～14：30 機械力学
8月4日（月）	9：00～12：30 専門科目	

※ 試験場は桂キャンパスCクラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

III. 入学試験詳細

(1) 配点と選考方法

一般選考

科目	配点
英語	120点
数学	180点
機械力学	150点
専門科目	400点
合計	850点

専門基礎に関する筆記試験と英語に関する TOEFL テストの成績により決定する。

(2) その他

(a) 科目について

(i) 機械力学

工業力学、振動工学から出題する。

(ii) 専門科目

流体力学、熱力学（統計熱力学を含む）、材料力学、制御工学から出題する。

(iii) 英語

筆記試験は行わず、TOEFL テストの成績（120 点満点）で代用する。成績の提出方法その他については、下記の項目(c)およびⅣ. (1) を参照のこと。提出がない場合は英語の得点が 0 点となる。

受験資格により TOEFL を受験することが困難な場合は、下記Ⅳ (2) まで連絡すること。

(b) 学力検査に関する注意事項

(i) 試験会場や試験に関する注意などは、2025 年 7 月 28 日（月）～8 月 4 日（月）に桂キャンパス C クラスター C3 棟 1 階（b 棟）掲示板に掲示する。

(ii) 試験開始 20 分前までに試験室に入室すること。

(iii) 試験開始後 30 分以上遅刻した者の入室は認めない。

(iv) 試験開始後の途中退室は認めない（用便等、一時退室を特別に認める場合を除く）。

(v) 時計を持ち込んでよいが、計時機能のみを有するものに限る。

(vi) 定規、コンパス、辞書、電卓、およびこれらに類するものの使用は認めない。

(vii) 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。

(viii) その他の注意は試験室にて与える。

(c) TOEFL 成績の提出について

(i) 2023 年 8 月 3 日以降に受験した TOEFL-iBT の成績を有効とする。TOEFL-ITP および TOEFL-iBT Home Edition の成績は受け付けない。以下の項目(ii)および(iii)の手続きにより成績を提出すること。提出がない場合は英語の得点が 0 点となる。TOEFL の受験後、TOEFL 実施機関のホームページで成績を確認できるまでに 2 週間程度、Institutional Score Report が指定送付先に到着するまでに 6～8 週間程度かかるとされている。到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って TOEFL を受験すること。なお、Test Date Scores のみを利用する。

(ii) 受験した TOEFL テストの Test Taker Score Report のコピーを提出すること（TOEFL 実施機関のウェブサイトの個人ページからダウンロードが可能な PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したものでも良い）。

(iii) 受験した TOEFL テストの Institutional Score Report が 2025 年 7 月 28 日(月)までに総合生存学館教務掛に届くように、出願者の責任において TOEFL 実施機関に送付依頼の手続きを取ること。Institutional Score Report の送付依頼の際には、送付先のコード (Institution Code) として「B491」を指定すること（Institution Code が「B491」と指定されていれば、Department Code はどのように指定されていても良い）。送付依頼手続きは、TOEFL テスト申込時のほか、申込後や TOEFL テスト受験後にも可能であるので、TOEFL 実施機関に確認すること。なお、原則、Institutional Score Report の到着の有無についての問い合わせには、回答しない。

(iv) Institutional Score Report の京都大学の Institution Code「9501」への送付は認めない。既に TOEFL を受験し、Institutional Score Report を Institution Code「9501」に送付済みの場合でも、必ず「B491」に再度送付依頼の手続きをとること。

- (v) 原則として、総合生存学館に届いた Institutional Score Report に記載の成績を英語の点数とする。ただし、出願者が Institutional Score Report の送付依頼を正しく行ったにもかかわらず、(iii)に記載の期日までに総合生存学館に Institutional Score Report が届いていない場合には、提出された Test Taker Score Report のコピーに記載の成績を英語の点数とすることがある。
- (vi) 英語を母国語とする受験者は、「英語を母国語とする旨の宣誓書」(様式4)の提出により TOEFL 成績の提出を免除することがある。免除を受けようとする場合には、予め下記の IV. (2)に詳細を問い合わせること。
- (vii) 受験資格により TOEFL を受験することが困難な場合は、下記の IV. (2)まで連絡すること。
- <参考> TOEFL に関するホームページ：

<https://www.toefl-ibt.jp>

<https://www.ets.org/toefl.html>

IV. 出願要領

(1) 一般選考

出願書類の他に、以下の (a), (b)の書類を 2025 年 7 月 17 日 (木) 午後 5 時までに下記 (2) の提出先に郵送 (必着・書留便) すること (※2025 年 7 月 15 日 (火) 以前の日本の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理する。)

また、留学生においては、以下の (a), (b)の書類に加えて、以下の (c)の書類も提出すること。ただし、以下の (c)の書類については 2025 年 5 月 28 日 (水) ～2025 年 6 月 11 日 (水) 午後 5 時まで (願書の提出期間と同じ) に下記 (2) の提出先に郵送 (必着・書留便) すること (※2025 年 6 月 9 日 (月) 以前の日本の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理する。)

※様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

(a) TOEFL 成績に関する提出書類

項目Ⅲ. (2) (c)に記載の TOEFL テストの Test Taker Score Report のコピー

(なお、Institutional Score Report については、項目Ⅲ. (2) (c)に指定した方法で総合生存学館教務掛への送付手続きを別途済ませておくこと)

(b) 志望研究区分申告票 (様式1)

(i) 合格者の研究室配属は、「志望研究区分申告票」により申告した志望区分番号に基づいて行う。

(ii) 配属を志望する研究区分番号と氏名を記入し、押印すること。受験票が届く前に提出する場合は、受験番号欄には記入する必要はない。

(iii) 「Ⅶ. 教員・研究内容説明書」を参照して、第1志望のみ記入すること。

(c) 志望する指導教員調書 (様式6：留学生のみ要提出)

志望する指導予定教員の確認印 (署名) を得たものを提出すること。(コピー可)

事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。

(2) 提出先・問合せ先

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

V. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「機械工学群」の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは下記のとおりである。

前後期連携教育プログラム

融合工学コース（a. 応用力学分野、b. 物質機能・変換科学分野、c. 生命・医工融合分野、d. 融合光・電子科学創成分野、f. デザイン学分野、g. 総合医療工学分野）
※現在、「e. 人間安全保障工学分野」を選択できる志望区分は機械工学群にはありません。

前後期連携教育プログラム

高度工学コース（機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻）

修士課程教育プログラム

機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻

各教育プログラムの詳細及び融合工学コースの各分野の内容については、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）、および下記項目 VI を参照すること。一般選考は、合格者のみ研究室配属確定後、2025 年 10 月 27 日（月）までに IV. (2) 記載の提出先へ「教育プログラム志望調書」（様式 5）を提出すること。前後期連携教育プログラムを志望する場合は志望区分の予定教員の内諾が必要である。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、上記 IV. (2) まで問い合わせること。

VI. 教育プログラムの内容について（前後期連携教育プログラム高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

VII. 教員・研究内容説明書

各専攻の教員・研究内容説明書については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

材料工学専攻

総合生存学館を志望する者は、「一般選考」のみ受験可。

なお、材料工学専攻においては、合格発表後に行う別途志望調査（後述）の結果により、事前に AAO でコンタクトを取った教員ではない研究室に配属される可能性がある。

I. 志望区分

研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

一般選考

8月4日（月）	9：30～11：30 材料基礎学A	13：00～16：00 材料基礎学B
8月5日（火）	9：30～11：00 工業数学	11：00～ 面接

※試験場は吉田キャンパスである。詳細は受験票送付時に通知する。

III. 入学試験詳細

一般選考

配点

〔英語〕配点 100 点

筆記試験は行わず、TOEIC(TOEIC Listening & Reading Tests；以下 TOEIC L&R)の成績で代用する(100 点満点に換算する)。学力検査日から過去 2 年以内に受験した TOEIC「公開テスト」の成績表を提出すること。提出方法については下記項目Ⅳを参照。TOEIC の「IP (Institutional Program) テスト」ならびに「iBT Special Home Edition」の成績は受け付けない。提出がない場合は英語の得点が 0 点となる。本専攻では、所属する大学院学生が TOEIC 730 点以上（レベル B）の英語力を有するべきと考えている。提出された TOEIC テストの点数は、このことを考慮して 100 点満点に換算する。

〔工業数学〕配点 100 点

線形代数、微分積分、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、偏微分方程式、ベクトル解析など。

〔材料基礎学 A〕配点 120 点

〔材料基礎学 B〕配点 180 点

両科目とも、次の出題範囲から出題し、全問解答を要する。

- ・固体の原子および電子構造（化学結合、電子構造、結晶構造、X線解析など）
- ・熱力学・統計熱力学（相平衡、化学平衡、状態図など）
- ・材料組織（材料の微細構造、格子欠陥、拡散、相変態など）
- ・構造材料基礎（固体の機械的性質、弾性、塑性など）
- ・機能材料基礎（固体の電氣的性質、磁氣的性質など）
- ・材料プロセス基礎（金属材料、半導体材料、複合材料など）

〔面接〕 面接控室において、進路希望調査票を提出のうえ、指示に従うこと。

面接に欠席した場合、受験者の不利益になることがある。

IV. 出願要領

出願書類と志望区分

当専攻の志望区分は上記 I のとおりであるが、当専攻では受験生に対し別途志望を調査する。志望区分と研究室および担当教員の関係は、下記の教員・研究内容説明書および材料工学専攻のウェブサイトを確認すること。<https://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/ja>

TOEIC 成績の提出

条件を満たす TOEIC L&R テストの成績表を 2025 年 7 月 25 日（金）午後 5 時必着で下記の「問い合わせ先」へ提出すること。郵送は、封筒に「総合生存学館一貫制博士課程入試関係書類」と朱筆し、簡易書留とすること。成績表は原本を提出すること（コピーは不可）。ただし、TOEIC から紙媒体の成績証明書が発行されない場合はデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものの提出を認める。提出された成績表は試験当日に、本人に返却する。それ以前に返却を希望する場合は下記の連絡先に連絡すること。

○ 問い合わせ先（提出先）

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1
京都大学大学院総合生存学館教務掛
TEL (075)762-2002, 2010

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。入試区分「材料工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記のとおりである。

- (a) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (b) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（材料工学専攻）
- (c) 修士課程教育プログラム 材料工学専攻

いずれのプログラムを履修するかは、合格決定後、入学までの適切な時期に志望を調査したうえで、その志望と入試成績に応じて審査の後に決定される。また、教育プログラムの内容については、工学研究科学生募集要項 10 ページ以降記載の「X. 修士課程入学後の教育プログラムについて」及び次項の「教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

VI. 教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

VII. その他

携行品

受験票、筆記用具（電卓の持込は不可）

教員・研究内容説明書

教員・研究内容説明書については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

創成化学専攻群（材料化学専攻，高分子化学専攻）

I. 専攻別志望区分

研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

(1) 試験日時※・試験科目

8月6日（水）	9：30～11：30 物理化学	12：45～14：45 有機化学	15：30～17：00 専門科目（選択）
8月7日（木）	9：00～ 口頭試問		

※試験日時は状況により変更される場合があります。

(2) 試験場

試験は桂キャンパス A クラスターで行う。詳細は後日通知する。

III. 入学試験詳細

〔英語〕配点 200 点

TOEIC の成績で評価する。

TOEIC：TOEIC Listening & Reading Test の成績を 200 点満点に換算する。このため学力検査日（8月6日）から過去2年以内に受験した TOEIC「公開テスト」の成績表を提出すること。提出方法については下記項目を参照。

TOEIC の「IP (Institutional Program) テスト」の成績は受け付けない。条件を満たす TOEIC「公開テスト」の公式認定証 (Official Score Certificate) の原本、もしくは TOEIC のデジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) を印刷したものを下記のどちらかで提出すること。提出がない場合及び忘れた場合は、英語の得点は 0 点となる。

1) 7月31日（木）の午前9時から午後5時の間に、総合生存学館教務掛へ提出する。

2) 第1番目の試験科目（物理化学）の直前に試験室で提出する。

成績表は面接時に返却する。

TOEIC「公開テスト」は、年10回程度実施されている。詳細については、以下を参照のこと。なお、TOEIC「公開テスト」後にその認定証が発行されるまでに時間を要するので、試験日まで十分に余裕をもって TOEIC「公開テスト」を受験しておくこと。

◆TOEIC: (財) 国際ビジネスコミュニケーション協会

Tel: 03-5521-6033, <http://www.iibc-global.org/toEIC.html>

〔物理化学〕配点 250 点

すべて必須問題。高分子物性を含む。

〔有機化学〕配点 250 点

すべて必須問題。高分子合成を含む。

〔専門科目〕配点 200 点

無機化学（1題）・分析化学（1題）・生化学（1題）の3題中から計2題選択。

試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。

(1) 学科試験

試験当日は開始 20 分前までに指定された試験室前に集合すること。試験開始時刻から 30 分経過した後は入室できない。また、試験開始後、当該科目の試験時間中は退室できない。なお、物理化学、専門科目の試験時には、受験者全員に関数電卓を貸し出す。携帯電話、スマートウォッチ等の電子機器類は、電源を切り、カバンにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なすので注意すること。

(2) 口頭試問

創成化学専攻群の受験生全員に対して第 1 志望の専攻で口頭試問を行う。8 月 7 日（木）午前 8 時 45 分までに受験票交付時に指示する面接控室に集合すること。面接控室で「連絡先届」用紙を配付するので、口頭試問後の連絡先を明記して控室の担当教員に提出すること。同届を提出しなかった場合、受験者の不利益になることがある。

(3) 有資格者及び合格者決定法

筆記試験及び口頭試問の結果に基づいて合否判定を行う。

IV. 出願要領

志望区分の申請

合格者の研究室配属は、「志望区分申告票」（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）により申告した志望区分番号に基づいて行う。下の記入方法(1)～(3)に留意して「志望区分申告票」に記入し、6 月 13 日（金）午後 5 時までに下記の提出先に郵送（必着・書留便（簡易））すること。

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

記入方法

- (1) 「I.専攻別志望区分」を参照して、「志望区分申告票」の志望区分番号欄に志望順位 1 位のみを記入すること。なお、「I.専攻別志望区分」に記載の各専攻ホームページは、さらに各講座・分野（研究室）のホームページにリンクされており、これから研究内容の詳細を参照できる。
- (2) 「志望区分申告票」には氏名を記入し、押印すること。
- (3) 区分番号に空欄などの不備がないように注意すること。不備のある場合には、受験者の不利益になることがある。

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 6 種類の教育プログラムが準備されている。入試区分「創成化学専攻群」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、合格した専攻・分野に応じて決まり、下記の通りである。

- (1) 修士課程教育プログラム
- (2) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（材料化学専攻）
- (3) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（高分子化学専攻）
- (4) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (5) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（生命・医工融合分野）
- (6) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（総合医療工学分野）

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。

詳細については、「Ⅰ．専攻別志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、工学研究科 HP (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>) 及び、次項の「Ⅵ．教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

Ⅵ．教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

先端化学専攻群

(物質エネルギー化学専攻, 分子工学専攻, 合成・生物化学専攻)

I. 専攻別志望区分

各専攻の研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

(1) 試験日時・試験科目

8月6日(水)	10:00～11:30 化学Ⅰ	13:00～16:00 化学Ⅱ
8月7日(木)	9:00～ 口頭試験※ ※専攻により口頭試験を実施しない場合がある。後日通知の詳細を参照すること。	

(2) 試験場

試験は桂キャンパス A クラスターで行う。詳細は後日通知する。

III. 入学試験詳細

[英語] 配点 200 点

筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価。成績の提出方法その他については、下記の項目 (2) **英語の成績証明書・学力評価について**を参照のこと。

[化学Ⅰ] 配点 300 点

融合化学*・分析化学・生化学・化学工学から 2 問選択 (各 150 点)。

[化学Ⅱ] 配点 550 点

物理化学 (200 点)、有機化学 (200 点)、無機化学 (150 点)、すべて必須問題。

*融合化学は、有機化学・物理化学・無機化学の範囲からの出題とする。

(1) 学科試験

試験当日は開始 20 分前までに指定された試験室前に集合すること。試験開始時刻から 30 分経過した後は入室できない。また、試験開始後、当該科目の試験時間中は退出できない。なお、化学Ⅰ・化学Ⅱの試験時には、受験者全員に関数電卓を貸し出す。携帯電話、スマートウォッチ等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、カバンにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なしますので注意すること。

(2) 英語の成績証明書・学力評価について

- ・TOEFL、TOEIC、または IELTS の成績により評価する。
- ・TOEFL の受験者成績証明書 (「Test Taker Score Report」) の ETS から紙媒体で送付された原本、IELTS の成績証明書 (Test Report Form) 原本または TOEIC の公式認定証 (Official Score Certificate) (以下、成績証明書と略す) の成績により英語の学力を評価する。ただし、学力考査日 (8 月 6 日) から過去 2 年以内に受験した成績証明書を提出すること。
- ・TOEFL の場合は TOEFL-iBT (internet-Based Test)、TOEFL iBT Home Edition を受け付ける。TOEFL の My Best Score は受け付けない。

- ・ TOEIC の場合は TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。なお、公式認定証（Official Score Certificate）の原本、もしくは TOEIC のデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものを提出すること。
- ・ 成績証明書は、試験集合時刻に試験室で提出する。提出がない場合及び忘れた場合は、英語の得点は 0 点になる。
- ・ 成績証明書は、後日 1 年の年限で、希望する者には返却する。
- ・ TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の受験から、その成績表が手元に届くまでに 1 ヶ月近くを要するので、試験日まで十分に余裕をもって受験しておくこと。

各試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。

TOEFL : ETS Japan 合同会社・TOEFL®テスト日本事務局

TEL: 03-6204-9830、<https://www.toefl-ibt.jp/>

TOEIC : (一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会

TEL: 03-5521-6033、<http://www.iibc-global.org/toEIC.html>

IELTS : (公財) 日本英語検定協会

IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852

IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286 <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

(3) 口頭試問

先端化学専攻群の受験生全員に対して口頭試問を行う。8 月 7 日（木）午前 8 時 45 分までに受験票交付時に指示する口頭試問控室に集合すること。口頭試問控室で「連絡先届」用紙を配付するので、口頭試問後の連絡先を明記して控室の担当教員に提出すること。同届を提出しなかった場合、受験者の不利益になることがある。

IV. 出願要領

志望区分の申請

合格者の研究室配属は、「志望区分申告票」（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）により申告した志望区分番号に基づいて行う。下の記入方法(1)～(3)に留意して「志望区分申告票」に記入し、6 月 13 日（金）午後 5 時までに下記の提出先に郵送（必着・書留便（簡易））すること。

提出先

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町 1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075) 762-2002, 2010

記入方法

- (1) 「I.専攻別志望区分」を参照して、「志望区分申告票」の志望区分番号欄に志望順位 1 位のみを記入すること。なお、「I.専攻別志望区分」に記載の各専攻ホームページは、さらに各講座・分野（研究室）のホームページにリンクされており、これから研究内容の詳細を参照できる。
- (2) 「志望区分申告票」には氏名を記入し、押印すること。
- (3) 区分番号に空欄などの不備がないように注意すること。不備のある場合には、受験者の不利益になることがある。

V. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 9 種類の教育プログラムが準備されている。入試区分「先端化学専攻群」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- (1) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (2) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（生命・医工融合分野）
- (3) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（総合医療工学分野）
- (4) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（物質エネルギー化学専攻）
- (5) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（分子工学専攻）
- (6) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（合成・生物化学専攻）
- (7) 修士課程教育プログラム 物質エネルギー化学専攻
- (8) 修士課程教育プログラム 分子工学専攻
- (9) 修士課程教育プログラム 合成・生物化学専攻

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。

詳細については、「Ⅰ．専攻別志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、工学研究科 HP (<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>) 及び、次項の「Ⅵ．教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

Ⅵ．教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

化学工学専攻

I. 志望区分

研究内容等詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

II. 学力検査日程

8月6日（水）	9：00 ～11：30 専門科目1	13：00 ～15：30 専門科目2	16：00 ～18：00 面接
---------	-------------------------	--------------------------	-----------------------

III. 入学試験詳細

(1) 科目、出題範囲

[英語] 配点 200 点

TOEIC Listening & Reading Testの成績を200点満点に換算する。このため学力検査日（8月6日）から過去2年以内に受験したTOEIC「公開テスト」の成績表を提出すること。提出方法については下記項目を参照。

TOEICの「IP（Institutional Program）テスト」の成績は受け付けない。条件を満たすTOEIC「公開テスト」の公式認定証（Official Score Certificate）の原本、もしくはTOEICのデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものを提出すること。提出がない場合及び忘れた場合は、英語の該当部分の得点は0点となる。

【提出方法】

最初の試験科目（専門科目1）の直前に試験室にて提出すること。成績表は面接時に返却する。

TOEIC公開テストは、年10回程度実施されている。詳細については以下を参照のこと。なお、TOEICテスト試験日からテスト結果が手元に届くまで1ヶ月近くを要するので、試験日まで十分に余裕をもってTOEICテストを受験しておくこと。

◆TOEIC：（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会・IIBC試験運営センター

Tel: 03-5521-6033, <https://www.iibc-global.org/toeic.html>

[専門科目1] 配点 400 点

移動現象（2題）、分離工学（2題）、粒子工学、プロセス制御（以上6題から4題選択）。ただし、移動現象の出題範囲は、流動、伝熱、拡散とし、分離工学の出題範囲は、ガス吸収、蒸留、吸着、乾燥、抽出とする。

[専門科目2] 配点 400 点

化学工学量論（熱力学含む）、基礎物理化学、基礎有機化学、化学工学数学、反応工学（2題）、プロセスシステム工学（以上7題から4題選択）。ただし、化学工学数学の出題範囲は、微分積分学、線形代数学、常微分方程式、ベクトル解析、複素解析、偏微分方程式とする。

専門科目1、専門科目2の試験は日本語による出題で、試験時に電卓を貸与する

(2) 有資格者及び合格者決定法

総得点500点以上を有資格者とする。ただし、問題の難易度に応じて有資格判定の基準点を調整することがある。有資格者の成績上位者から合格者を決定する。

IV. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には4種類の教育プログラムが準備されている。本専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

- (a) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（応用力学分野）
- (b) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
- (c) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（化学工学専攻）
- (d) 修士課程教育プログラム 化学工学専攻

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。

詳細については、「Ⅰ. 志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、ホームページ（<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69>）及び、次項の「Ⅴ. 教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

なお、入学後の研究室配属の希望調査も、教育プログラムの志望調査とあわせて、合格決定後におこなう。

Ⅴ. 教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

各教育プログラムの詳細については、工学研究科ウェブサイト掲載の修士課程学生募集要項を参照すること。

Ⅵ. その他

集合時間および集合場所について

試験当日は、試験開始 20 分前までに化学工学専攻試験場前に集合すること。試験場については後日通知する。

入退室について

試験開始時間から 30 分以降は入室できない。また、試験開始後、当該科目の試験時間中は退室できない。

面接について

化学工学専攻の受験者全員について面接を行うので、受験者は8月6日（水）専門科目2の終了後、15:50 までに面接控室（後日通知する）に集合すること。

電卓の貸出しについて

化学工学専攻の試験中に使用する電卓を、機能確認のために事前に貸出する。希望者は下記の時間帯に桂キャンパスAクラスター事務区教務掛に取りに来ること。

貸出時間帯 7月17日（木）10:00～16:00

＊注意：電卓の機種・機能の確認後は、速やかに上記時間内に同事務室に返却のこと。

携帯電話について

携帯電話は必ず電源を切り、かばん等に入れ所定の場所に置くこと。試験中、携帯電話を時計として使用することも禁止する。試験中に携帯電話等の通信機器の所持が判明した場合は、不正行為と見なされる場合がある。なお、時計（通信機能のないものに限る）については各自で用意すること。